

静岡でeスポーツの全国大会を ICTを活用し社会課題を解決



▲第53回大会では11人対11人での対戦を実施

NTT西日本グループカップ第54回静岡県ユースU12サッカー大会は新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止になりました。ここまで、当大会を盛り上げてくださった選手、指導者、保護者、そしてすべての関係者のみなさまにあらためてお礼を申し上げます。

NTT西日本グループは地域が抱えるさまざまな課題に対し、ICTの力で解決をしていく「ソーシャルICTパイオニア」をめざし、今大会においても「AIカメラによる全試合配信」や「eスポーツ対戦の規模拡大」など、大会を盛り上げようと考えていただけに残念でなりません。選手のみならず、大会中止の悔しさや大会に託した思いは次のステップにつなげていきたいと考えています。そこで、2021年2月に行われた第53回で11人対11人により対戦を行い話題となった「eスポーツ」に焦点をあて、eスポーツへの思いや将来展望について、静岡県eスポーツ連合・畑雅樹理事、静岡県サッカー協会・平野賢一4種委員会（U-12）会長、前回eスポーツ対戦の立ち上げに尽力した同協会・飯塚孝夫4種委員会前会長とNTT西日本・番匠俊行静岡支店長が語りあいました。（企画・制作／静岡新聞社地域ビジネス推進局）



▲西部地区予選の様子

▲沼津会場では保護者も選手として参加



NTT西日本
番匠俊行
静岡支店長

通信技術で 11対11を実現

2021年のeスポーツ対戦では市販の人気対戦型サッカーゲームを使用し、U12の選手により11人対11人の試合を実現させました。対戦を振り返り、実施に至った経緯や目的、各者の強みなどを伺います。

番匠 eスポーツ対戦の企画を始めた2020年度当初は本年と同様に新型コロナウイルスの影響で開催を断念するeスポーツ大会があり、サッカーについても集合での練習や試合ができる機会も減っていましたと記憶しています。「NTT西日本グループカップ」は6年生に上って小学生最後の大会。NTT西日本として、通信技術を活用して何か支援できないかと考えていた時に県サッカー協会やeスポーツ連合に声を掛けていただきました。eスポーツは0コマ何秒の通信の遅延が勝敗に影響するため、低遅延で安定した通信品質が要求されます。そこで2021年の対戦ではインターネット光回線を出場選手一人ひとりに提供することで遅延が出ないようにしました。何よりも、eスポーツ連合・県サッカー協会などの大会関係者が「子どもたちのために」という思いで一致したからこそできたと思うています。

飯塚 県サッカー協会4種委員会としては、選手間のコミュニケーションやオフザボールの動きなどeスポーツを通じてリアルサッカーに活かせることはあると考え、11人対11人での対戦形式を重視しました。現に仲間と連携して、とてもいい試合になったことに感動を覚えました。

畑 eスポーツ連合としても11人対11人での対戦は初めての経験でした。出場選手22人の中にはウイニングイレブン未経験という選手もいました。試



静岡県eスポーツ連合
畑雅樹理事

選手の 裾野拡大に期待

eスポーツ対戦の後、eスポーツへの高い期待の音が寄せられたことを受け、2022年は「地区予選の開催」「オーバーエッジの使用」など出場機会の拡大に取り組みされました。その思いをお聞かせください。

番匠 eスポーツはゲームではありませんが、ゴールが決まればメンバーと嬉しくことができます。リアルなコミュニケーションを取りながらプレーできるのがいいですね。離れた場所にいる人とプレーできるのもいい。前回大会の対戦を見て、あらためてeスポーツは興味深く面白いなと思いました。静岡はサッカー



静岡県サッカー協会
平野賢一
4種会長

合前に練習時間を設け、eスポーツの県代表選手から子どもたちにポジション、役割を教えました。すると30分程度でできるようになっていました。アンブレティサッカー（主に上肢または下肢の切断障がいを持った人々により行われるサッカー）の選手も参加し、しっかりとプレーしていました。障がいに関わらずプレーできるのはeスポーツのいいところですね。

飯塚 県サッカー協会ではコロナ禍でもサッカーに向き合っている、という思いがありました。エコパスタジアムの大画面での観戦は歴史のある大会、子どもたちのことを考えて運営された、素晴らしい大会になりました。

王国です。eスポーツを見て「こんなこともできるんだ、サッカーって面白くない、サッカーに関心を持つきっかけになればいいですね。将来は静岡で全国大会をやりたいですね。eスポーツと、リアルサッカーがどう相乗効果を生むのか楽しみです。」

平野 県サッカー協会としては、eスポーツやサッカーを広く知ってもらう機会となることに期待をしています。2022年の開催で、唯一実施できた西部地区予選では、試合をライブ配信しましたが、多くの人が実際にご覧いただく機会が増えるのは大変喜ばしいです。また、参加資格に柔軟性を持たせたことで多様性が広がることも期待しています。実際、応募いただいたチームの中には中学生や保護者の方が選手登録されていました。このような取り組みを通じて、多様性の中で新しいサッカーのスタイルも生まれるのではないのでしょうか。

畑 前回の対戦は私たちeスポーツ連合だけでは開催できませんでした。今回の大会は参加チーム、人数が増え、今後も毎年2月のこの大会に出たいという子どもたちが増えることを願っています。付随イベントなども開けるようにすれば夢が膨らみます。今はリアルでのプレーのためにeスポーツを活用していますが、将来的には逆も出てくるのではないのでしょうか。リアルで戦術を立ててeスポーツに生かすといった事例も出てきたら面白いですね。

飯塚 参加者が増えるので、どんなチームが出てくるか楽しみです。サッカーを知っている子どもだけでなく、サッカーを未経験の子もeスポーツを通してサッカーファンになるかもしれません。ご家族や近親者をはじめ普段ゲームに縁遠い方の理解、参加がサッカーファン

拡大の力を握るかもしれません。前回の大会では元清水エスパルスの森岡隆三さんと観戦しました。森岡さんが「練習から使える」とおっしゃっていたのが印象的でした。今は作戦盤を使つての指導が多く、試合ではハーフタイムにタブレットで動画などを見ながら修正指示をしています。eスポーツが広がれば練習から戦術の習熟などに活用できるのではないのでしょうか。

リアルと eスポーツの融合

将来の展望を聞かせてください。

畑 国体の文化プログラムで行われた対戦型サッカーゲームの競技では、静岡県勢が善戦。本県代表は2019年に一般の部ベスト8、2020年は3位、2021年は準優勝という結果を残しました。eスポーツでも静岡はすごいと知ってほしいですね。今年、中国で行われるアジア大会ではeスポーツが正式種目として採用されます。また、静岡県と中国・浙江省が姉妹都市締結30周年の年でもあり、コロナ禍のため、オンラインで交流ができないかと検討しています。

番匠 NTT西日本の得意分野をさらけながら、今後は世界同時プレーでいくようにするなど技術を高めなければならないと思っています。いかに高速にできるか。遅延が



静岡県サッカー協会
飯塚孝夫 4種前会長



ピッチで何が起きているのかをAIカメラが学習し、選手やボールの動きを自動で追尾し撮影する。第53回大会ではエコパスタジアムで行われた4試合をAIカメラで撮影しライブ配信を行った。

あったとしても、参加する全プレイヤーのディスプレイ表示を同じタイミングに同期させるなど研究を進めています。次々に技術を開発しながらより快適に、どこでもプレーできる環境をつくりたいですね。

健康増進、 交流促進にも

飯塚 人口減少と共に県サッカー協会の4種登録者の減少傾向に歯止めがかからず、二、三年の大きな課題となっています。eスポーツの普及は競技人口減少の対策の一つとして、また、球技場に来場するサッカーファンの増加にも大きな期待を寄せています。

平野 静岡はサッカーの土壌があり、伝統のあるNTT西日本グループカップも、eスポーツ連合もあります。各々が協力して、この大会を全国規模の大会に育てていきたいですね。

畑 eスポーツ連合では引きこもりの状態にある方が外に出るきっかけづくりに活用できないかと考えています。そのほか、60歳以上の方を対象に健康ゲームをやってみようという。祖父祖母がプレーできるお孫さんとのコミュニケーションのツールにもなり、そうした関わりを通じてさらなるITリテラシーの向上にもつながるかもしれません。

番匠 静岡ならeスポーツ、リアルサッカーもできる、という環境ができればいいですね。コロナ禍を経てどこでも働ける時代になりました。静岡ならお子さんと一緒にサッカーもeスポーツも勉強もできるとか。そうして、5年後、10年後のサッカー界を担う人材を育てたいですね。eスポーツを社内ネットワークづくりや企業対抗などに活用するもの面白い。私たちがめざす地域活性化になります。NTT西日本ではスマート10xという事業ビジョンを掲げ10の分野で地域のスマート化に資するサービスラインナップの強化に取り組んでいます。AIカメラを活用したeスポーツの自動撮影・配信ソリューションもその一つ。新型コロナウイルス感染症の影響により「試合観戦に行きたくても行けない」など現地での観戦が難しい昨今、新たなeスポーツ観戦スタイルが求められています。また、アマチュアeスポーツだからこそ、みなさまの頑張る姿の映像をお届けすることで地域スポーツを一層盛り上げていけると考えています。NTT西日本はICT技術を駆使し、サッカーはもとよりeスポーツの発展を通じて静岡県を元気にするお手伝いをしたいと考えています。

SBSテレビ「お天気コーナー」で「NTT西日本グループカップ第54回大会」
特別編CMを放映

NTT西日本グループカップサッカー大会「特別編CM」を以下日程で放映します。県大会出場チームの皆さんの集合写真もご紹介するのでお見逃しなく。

- 3月14日(月)～3月31日(木)の毎週月曜～木曜日 朝6時台のお天気コーナー
 - 3月19日(土)18:56、3月26日(土)18:26放映のお天気コーナー
- また、NTT西日本 静岡支店ホームページでもご覧いただけます

NTT西日本ホームページ <https://www.ntt-west.co.jp/shizuoka/soccer/>



NTT西日本グループはソーシャルICTパイオニアとして
社会課題の解決に貢献します。



あしたへー with you, with ICT.